

第18回長野県カンポリー基本実施要項

「スカウトの友情」

～大町に集う友情の輪～



大会期日：平成28年8月3日（水）～7日（日）

会場：大町市平字小熊原「大町キャンプ場」

日本ボーイスカウト長野県連盟

目 次

第 1 章	開催の趣旨	1
第 2 章	名称	3
第 3 章	会期	3
第 4 章	会場の地理的条件	4
第 5 章	参加者	4
第 6 章	参加資格	5
第 7 章	参加隊の編成と団からの支援	7
第 8 章	参加申し込みと参加費	8
第 9 章	キャンポリーでの活動と基本日課	9
第 10 章	輸送	15
第 11 章	入場・退場	15
第 12 章	安全管理と救護衛生	16
第 13 章	大会組織と運営	16
資料 1	18NC に関する注意事項	23
資料 2	18NC におけるセーフ・フロム・ハームの考え方	23
資料 3	キャンポリーの軌跡	24
資料 4	会場周辺地図	25
資料 5	会場図	25
	申込用紙類	26

第1章 開催の趣旨

【大会テーマ】

「スカウトの友情！」

～大町に集う友情の輪～

【第18回長野県キャンプリー開催にあたって】

昭和25年(1950年)5月に第1回の野営大会(長野スカウト大会・長野市)が開催され、本年、平成28年(2016年)8月で66年目となります。ほぼ4年に一度の周期で開催される当県連盟のキャンプリーも、今回で18回目を迎えることになりました。

キャンプリーでは、参加者が、県内のスカウト仲間と野営生活をしながら相互交流ならびに多彩なスカウトプログラムを共に体験することにより、スカウトの友情を深める場を提供してきました。

今大会では、その活動に対し、成人指導者(隊指導者、団委員)による「スカウト支援」の方法を見直す大きな転機にしたいと考えています。

現在の加盟員減少は、原隊で、本来の班活動が構築できない厳しい状況に結び付いています。云うまでもなく、青少年だけがスカウトでなく、支援を担当する成人指導者もスカウトです。

自分たちの団だけでなく、地区や団、隊を超えて組織する混成隊も含め、団(隊)相互補完、相互交流を実現できることを目標に、テーマである「スカウトの友情」を掲げました。

「スカウト運動の原点」に回帰する意味でも、「地区内で団(隊)を越えた友好的な結びつき」、「野営大会の楽しさ」、それに「スキルプログラム」を満喫していただきたいと期待しております。

【大会の目標】

大会は、その目的を達成するため、また、スカウトの夢を大きく膨らませ、日頃のスカウト活動への取り組みが、実を結ぶ楽しい大会とするため、次の目標を設定します。

《スカウトの目標》

- (1) 県内スカウトの友情の絆(きずな)を築きます。
- (2) 自然と共生するボーイスカウトの野営生活とプログラムの楽しさを体験します。
- (3) 自発活動に基づき、友情を深め、自分で考える時間がとれる、ゆとりあるキャンプ生活を実践します。
- (4) 環境に優しい(ロー・インパクト)キャンプ生活を展開します。
- (5) 大会プログラムに積極的に参加し、【かもしか賞】の取得に最善を尽くします。

《成人指導者(団・隊)の目標》

- (1) スカウトの手本となるよう、指導者自身も率先して「おきて」の実践に取り組み、自らの「ちかい」の心を大切にします。
- (1) 隊の現状に即し、多くのスカウトが参加できる大会を展開します。
- (2) 成人指導者(団・隊)と先輩スカウトが、参加スカウトを支えて、ターゲットバッジ取得が体験できるプログラムを展開します。
- (3) 野営参加者には、活動展開の成果を称える【かもしか賞】を設定し、参加者がその取得を目指すよう、指導、支援します。
- (4) セーフ・フロム・ハーム(危害から守る)、思いやりの心を育む教育としての実践に取り組みます。

《大会運営者の目標》

- (1) 大会運営者は「スカウトの目標」「成人指導者(団・隊)の目標」が達成できるよう、施設資材、野営管理、大会プログラム、配給などすべての面からこれを支援すると共に、スカウト運動が地域社会に正しく理解されるよう最善を尽くします。
- (2) スカウト仲間のビーバー & カブスカウトとその家族の為に、カブ・ビーバーデーを設けます。
- (3) セーフ・フロム・ハーム(危害から守る)、思いやりの心を育む教育としての実践に取り組みます。

【かもしか賞】

活動展開の成果を称える「かもしか賞」を設定し、参加者はその取得を目指します。
なお、カブ・ビーバーデー参加者には、別の方法で成果を称えることを検討します。

第2章 名称

第18回長野県キャンポリー(略称:18NC)

18th NAGANOKEN CAMPOREE

第3章 会期

第18回長野県キャンポリー(以下18NCと略す)は、平成28年8月3日(水)の開会式から始まり、8月7日(日)の閉会式をもって終了します。(4泊5日)

会場入場 : 8月3日(水)午前8時00分～正午に入場し諸手続きを完了させ開会式までに設営を完了することを基本とします。

会場退場 : 閉会式に参加してから8月7日(日)午後4時30分までに徹営を完了させ諸手続きを完了後、退場することを基本とします。

18NCで開催される「カブ・ビーバーデー」は、平成28年8月6日(土)を予定しています。

(詳細については、2016年カブ・ビーバーデー開催実施要項をご参照ください)

会期中の基本日程

日数	日程	主な活動	午前	午後	夜間
前日	8月2日(火)	本部要員集合	大会本部要員・設営		運営会議
第1日	8月3日(水)	開会式	入場・設営	開会式	隊活動
第2日	8月4日(木)	プログラム	プログラム	プログラム	隊活動・プログラム
第3日	8月5日(金)	プログラム	プログラム	プログラム	隊活動
第4日	8月6日(土)	プログラム	プログラム	プログラム	キャンポリー大集会
		カブ・ビーバーデー			大集会(見学可能)
第5日	8月7日(日)	環境整備・閉会式	閉会式		

- ※ 開会式は、午後 3 時 00 分～午後 4 時 30 分の時間内で実施
- ※ 閉会式は、午前 11 時 00 分～正午の時間内で実施
- ※ プログラムは、午前・午後の区分で表記されるも個別のプログラムを意図するものではありません。

第4章 会場の地理的条件

【会 場】

長野県大町市平字小熊原8592番地 「大町キャンプ場」付近一帯

【地勢・気候】

(長野県大町市および一帯における気候風土)

市の西部には標高 3000m の広大な北アルプス、東部には 1000m 近い山々がそれぞれ連なる。山に挟まれた盆地を高瀬川が南北に縦断している。市の北部には仁科三湖と呼ばれる 3 つの構造湖が南北に連なっており、糸魚川静岡構造線活断層系が走っていると考えられています。大北地区の唯一の市であり、政治経済の都市機能が集積している。内陸性気候でそれに併せて旧八坂村は中央高地式気候、それ以外の地域は日本海側気候で且つ冬季雪が多い豪雪地帯です。1 月の平均気温は -2.9 度と亜寒帯と温帯の境に位置し、冬季は零下 15 度以下になる日も珍しくない。年間降雪量は 525cm です。

第5章 参 加 者

【参加者】

- 1) 長野県連加盟員(スカウト、隊指導者、団指導者)を対象とします。
- 2) 県外・国外ボーイスカウトについては、所属連盟を通じた参加要請により大会長が認め、第6章に示す参加資格を満足している場合参加を可能とします。
- 3) カブ・ビーバーデーへのスカウトおよび関係指導者と保護者の見学を歓迎します。

- 4) ガールスカウトの参加を歓迎します。(ガールスカウト各県連盟に一任)
- 5) 広く同世代の青少年の体験参加を歓迎します。

【参加人員】

大会の参加区分と人数規模は、次のとおり見込みます。

参加の区分	内 訳	人 数
参加隊	指導者含む	160 名
カブ・ビーバーデー		200 名
大会本部要員	大会本部要員・運営スタッフ	20 名
地区業務要員	5 地区の所掌業務要員	60 名
合計		440 名

【加盟員以外の参加】

ボーイスカウト加盟員以外の参加は、参加者の当該組織と協議のうえ次章以降の加盟員の参加資格等に準拠して大会長が認めた場合参加可能とします。

【来訪者・来賓】

参加者以外に会場に訪れる見学者等の来訪者は、大会長が認めた場合、大会会場の許可された場所、時間帯の入場を許可します。

また、長野県連盟が招待するご来賓等については、大会長が、地区代表理事に諮って招待します。なお、ご来賓が大会会場内の見学を希望される場合は、大会役員が会場内をご案内します。

第6章 参加資格

【ボーイスカウトの参加資格】

この大会に参加するボーイスカウトは、次の条件全てを備えている平成 28 年度登録済み加盟スカウトとします。

- 1) ボーイスカウト隊に所属していること
- 2) 原隊隊長、団委員長及び保護者の参加承認を得ていること。

- 3) 大会期間中、野営生活に耐え得る十分な健康状態であること。
- 4) 参加費を納入し、原則的に全日程参加できること。

【ベンチャースカウトの参加資格】

この大会に参加するベンチャースカウトは、次の条件全てを備えている平成 28 年度登録済み加盟スカウトとします。

- 1) ベンチャースカウト隊に所属していること
 - 2) 原隊隊長、団委員長及び保護者の参加承認を得ていること。
 - 3) 大会期間中、野営生活に耐え得る十分な健康状態であること。
 - 4) 参加費を納入し、原則的に全日程参加できること。
 - 5) この大会に、下記の役務のいずれか、あるいはいくつかで参加し、その役務を通して、後輩を育てるとともに、自身も、スカウトとしての進歩に繋げる目的意識をもっていること。(参加役務をプロジェクトに組み入れることを推奨します。)
- ① 参加隊指導者の指示に従い、上級班長、隊付等の役務で、参加隊運営を支援する。
 - ② 所属地区担当役務の実施責任者の指示に従い、地区担当役務遂行を支援する。(地区担当場内プログラム、地区担当部署役務等)

【参加隊の指導者(団指導者・隊指導者)の参加資格】

参加隊指導者(団、隊指導者)は、次の条件全てを備えている平成 28 年度登録済み加盟指導者とします。

- 1) 大会期間中、隊指導者として参加スカウトの指導、助言および大会の運営に積極的に協力、奉仕する意欲があること。
- 2) 18NC 参加隊指導者として所属団委員長の承認を得ていること。
- 3) 隊長は大会全期間参加でき、ウッドバッジ研修所を終了していることが望ましい。
- 4) 副長、隊支援スタッフについては、やむを得ない事情がある場合に限り 隊長の許可を得て、大会長の承認により途中交代を認める場合があります。
- 5) 大会期間中、参加所属隊と行動を共にできること。
- 6) 大会期間中、野営生活に耐え得る十分な健康状態であること。
- 7) 参加費を納入し、原則的に全日程参加できること。
- 8) 大会の定めるセーフ・フロム・ハームの考え方に沿った行動をとれること。

【地区業務要員、大会本部要員の参加資格】

地区業務要員、大会本部要員は、次の条件全てを備えている平成 28 年登録済み加盟員とします。

- 1) 大会の運営に積極的に協力、奉仕する意欲のあること。
- 2) 大会期間中及び事前準備ならびに事後処理において、担当業務要員として役務を遂行できること。
- 3) 大会期間中、野営生活に耐え得る十分な健康状態であること。
- 4) 参加費を納入し、原則的に全日程参加できること。但し、やむを得ない事情がある場合に限り、所属部署の責任者の許可を得て、大会長の承認により大会中途での交替参加も認める場合があります。
- 5) 大会の定めるセーフ・フロム・ハームの考え方に沿った行動をとれること。

【カブ・ビーバーデーの参加者資格】

カブ・ビーバーデー参加者資格は、別に定めるカブ・ビーバーデー実施要項に従います。

第7章 参加隊の編成と団からの支援

【参加隊の編成】

18NC 参加隊は、効果的に隊が構成されるよう、団内あるいは隣接団とで編成してください。

これは、「第1章 開会の趣旨 【大会の目標】 成人指導者の目標(2)各隊の現状に即し、多くのスカウトが参加できるキャンポリーを展開します。」に示した内容を実現する手段として、混成隊での参加を可能にしていることを表します。

ただし、混成隊を編成する場合は構成員の所属する全ての団委員長の承認を得ることを条件とします。

また、参加隊が効果的に運営できるよう、団の支援をしてください。

なお、少なくとも参加隊隊長は、全期間参加しなければなりません。

【班の編成】

参加隊内に、効果的に班が構成されるよう参加隊内で編成するよう努力してください。

また、効果的に班が運営されるよう団から支援を実施してください。

班を編成するとき、生活およびプログラム参加を考慮するとともに、参加者の自発活動とチームワークが育つことを考慮してください。

第8章 参加申し込みと参加費

【参加申込み】

（確定申込を意味します）

- 1) 各団は、参加隊および大会本部要員他の参加者をとりまとめ、別途定める所定の申し込み用紙にて、平成 28 年 4 月 15 日までに申し込みを完了してください。
なお、カブ・ビーバーデーの参加申し込みは別に定めます。
- 2) 参加費の納付は、下記の指定口座に平成 28 年 5 月 6 日までに完了してください。
なお、振込に係る費用は各団の負担とします。

82 銀行上田支店 普通 1357083 18NC BS 長野

(ジユウハチエヌシイ ビイエスナガノ)

- 3) 長野県連盟事務局は、申込書および参加費を受領後、開会までに参加章と参加に必要な書類等を各団へ送付します。

【参加費】

参加者1人あたりの負担金は次表に従い、参加費は、一括納入してください。

参加区分	宿泊形態	参加費(負担金)
カブ・ビーバーデー参加者 (BVS・CS・指導者・保護者)	日帰り	1,000 円
参加隊(スカウト・指導者)	キャンプ	18,000 円
大会本部要員		
地区業務要員		
大会参加を希望する関係諸団体等		大会長判断による
来賓	日帰り	無

* 参加費は、他の参加者の参加費として振り替えることはできませんが、不参加であつ

ても払い戻しはいたしません。

- * 異常気象、伝染性のある疾病の流行、社会不安等、やむを得ない状況により大会が、中止、期間短縮になった場合も、基本的に参加費の払い戻しはしません。
- * 参加者以外の、大会会場内への入場料については別に定めます。

【経費の内訳】

参加費は、以下のような大会の準備および開催に要する経費に充てます。

- 1) 開催準備費
- 2) 8月3日夕食分から8月7日昼食分までの12食分の食材費(米は持参)
- 3) 配付資料、参加章、かもしか賞等の費用
- 4) プログラム経費(特別プログラムについては別途追加徴収する場合があります)
- 5) 会場の設備費および運営費等の一部
- 6) 会期中の救護衛生費等の一部
- 7) 事務費・印刷費・資料費等の一部

- 8) カブ・ビーバーデーに係る費用 (カブ・ビーバーデー参加申込者)

- * 燃料費は、経費に含まれません。燃料は薪、ホワイトガソリン・灯油・プロパンガス、カートッジ式ガスとし、各参加隊で準備してください。

第 9章 キャンポリーでの活動と基本日課

【キャンポリーでの活動】

- 1) 18NC は、大町市の『大町キャンプ場』にて活動が展開されます。
- 2) キャンポリーは、班ごとに自分達のキャンプサイトを作り、炊事・生活を含め、プログラムを十分に楽しむものです。
- 3) 参加者は大会プログラムに参加することによって、自分の力を試すことができ、新しい友達をつくり、技能と工夫などを実践する絶好の機会となります。
- 4) キャンポリーは単なる催し物として行われるものではありません。参加者一人一人は観客や見物人ではなく、キャンポリーの重要な構成員です。

【参加者の18NC 活動への隊指導者の支援】

隊長は、参加準備訓練、参加に向けてのプログラムプロセスを指導、実践し、キャンポリーの目標達成に努めてください。

隊指導者は毎朝行われる朝礼でスカウトを観察し、健康で愉快に元気よくその日のプログラムに参加できるようアドバイスをお願いしたいと思います。

隊長は以下に示す基本をしっかりと理解し、実践することを再確認する必要があります。

① 活動を理解する

スカウトに活動への意欲を与えられなかったら、18NCが有意義でなくなります。事前準備において大会プログラム、もしか賞を理解させてください。

② スカウトを理解する

スカウト個人をよく理解し、指導、助言することによって楽しさが増すものです。

- a) 話し合いや一緒に活動する機会をなるべく多くもつ。
- b) 班長を通じて指導する。
- c) プログラムをよく理解させる。
- d) 性格、特技、健康状態、進級状況等を把握する。

③ 野営基準の維持と向上をはかる。

④ 多くのスカウトと交歓する。

(交歓食事、相互交流訪問、参加隊ごとの隊営火など)

⑤ 大会のセーフ・フロム・ハームの考え方を実践する。

原隊ではできない数々のスキル修得への挑戦、楽しいゲームや交歓は終生の良い思い出となるでしょう。18NCを機に新しいスカウティングへの出発と推進を期待します。

【大会プログラムの区分】

大会プログラムは、以下の4区分で提供します。

- 1) 野営生活
- 2) 場内プログラム
- 3) 場外プログラム
- 4) セレモニー

これ以外、参加隊は、友情交歓、奉仕活動などの隊企画プログラムの展開を希望します。

【セレモニー】

開会式	8/3	午後 3:00～
キャンポリー大集会	8/6	午後 7:30～
閉会式	8/7	午前 11:00～

【場内・場外プログラム】

	8月4日 (木)	8月5日 (金)	8月6日 (土)	
	場内プログラム	場内プログラム	場外プログラム	場内プログラム
午 前 の 活 動	場内プログラム①	場内プログラム③	場外プログラム(午前)	場内プログラム⑤
	B-5 救護 D-1 観察 D-3 通信 D-6 気象観測 E-4 燃料 E-5 ロープ結び F-3 サバイバル F-7 スカウトソング G-4 環境保護	B-5 救護 D-1 観察 D-3 通信 D-6 気象観測 E-4 燃料 E-5 ロープ結び F-3 サバイバル F-7 スカウトソング G-4 環境保護	B EXアドベンチャー C ラフティング D イカダ作り E キャンオニング	B-5 救護 D-1 観察 D-3 通信 D-6 気象観測 E-4 燃料 E-5 ロープ結び F-3 サバイバル F-7 スカウトソング G-4 環境保護
	F-5 パイオニアリング	F-5 パイオニアリング	A 唐松岳登山	F-5 パイオニアリング
	場内プログラム②	場内プログラム④	場外プログラム(午後)	場内プログラム⑥
	B-5 救護 D-1 観察 D-3 通信 D-6 気象観測 E-4 燃料 E-5 ロープ結び F-3 サバイバル F-7 スカウトソング G-4 環境保護	B-5 救護 D-1 観察 D-3 通信 D-6 気象観測 E-4 燃料 E-5 ロープ結び F-3 サバイバル F-7 スカウトソング G-4 環境保護	B EXアドベンチャー C ラフティング D イカダ作り E キャンオニング	B-5 救護 D-1 観察 D-3 通信 D-6 気象観測 E-4 燃料 E-5 ロープ結び F-3 サバイバル F-7 スカウトソング G-4 環境保護
夜 の 活 動	場内プログラム(夜間)			
	D-7 天体宇宙			

【場外プログラム】

- A: 唐松岳登山 (1 日型プログラム)
- B: EX アドベンチャー 地上 8mの空中アスレチックとグループで考える図のアスレチックを組み合わせた新しい体験メニュー
- C: ラフティング 7 人ほど特殊強化ゴムのボートに乗り組み、プロのガイドと一緒にみんなで力を合わせて漕ぎながら川を下ります。
- D: イカダ作り 設計から組み立てまでグループで協力して、個性的なイカダを作ってみましょう。自分たちで作ったイカダが水に浮いた瞬間は感動的です。
- E: キャニオリング 美しい渓谷の川の流れに身を任せたり、流れを遡ったりして、神秘の川を冒険しよう。



【プログラム参加申し込み】

プログラムの参加申込は、各団ごとに「18NC プログラム参加申込シート」のフォーマットの Excel に入力して、県連事務局 (jimukyoku@bsnagano.jp)宛にメール添付で提出してください。(締切:4/15(金))

18NC では、場内プログラム・場外プログラム共に、個人単位でプログラムに参加します。各個人のターゲットバッジ修得に役立つように、また各個人のニーズによって場外プログラムに参加できるように、各スカウトごとに、29 ページの「プログラム参加申込シート(個

人)」を記入していただき、それを Excel シートに転記するといった方法で、各団のプログラム参加申込をまとめていただければと存じます。

場内プログラムは、基本的には、すべてのスカウトが希望するターゲットバッジの修得にチャレンジできるように、参加申込シートを集計してから、プログラム部で時間割作成を行います。

場外プログラムは、各プログラムへの参加人数の偏りを無くすために、第 1 希望～第 3 希望を記入してもらい、プログラム部で各スカウトが参加できるプログラムを決定します。場内プログラムの F-5. パイオニアリングと場外プログラムの A. 唐松岳登山は、それぞれ 1 日型のプログラムです。つまり場内プログラム 2 枠分を使います。

各スカウトが、この二つのプログラムを希望するか否かで、選択できる場内プログラムの枠の数が決まります。詳しくは、「プログラム参加申込シート(個人)」の手順の中で説明します。

各スカウトのプログラムの時間割は、プログラム部での集計・時間割作成の作業の後、5 月末までにそれぞれの連絡先宛に通知させていただく予定です

【かもしか賞】

かもしか章取得は、大会目的達成のための手段です。

キャンポリーへの夢と期待に応え、その活動が一定の基準に達したスカウトを激励する意味で、贈られるものです。

- ① スカウトの積極的な活動を奨励するために、かもしか賞を設定します。
- ② かもしか賞は大会プログラムの活動が一定基準に達したとき参加隊長が認定し野営長から授与されます。
- ③ この賞は、5つの項目を取得するようになっていきます。参加意欲を増しやすい内容で構成されていますから個人のニーズによって選択し、エントリーしてください。
- ④ かもしか賞取得基準は、プログラムガイドブックに定めます。

【かもしか賞の修得課目】

(1) 信 仰 (2) 奉 仕 (3)プログラム (4) 生 活 (5)環 境

【基本日課】

ゆとりある生活を実現するために、次の基本日課とします。

1) 起床 6:00

- | | |
|----------|-------------|
| 2) 国旗掲揚 | 8:30 |
| 3) 午前の活動 | 9:00～12:00 |
| 4) 午後の活動 | 13:00～16:00 |
| 5) 国旗降納 | 18:30 |
| 6) 夜の活動 | 19:30～21:00 |
| 7) 消灯 | 22:00 |

【食事(配給)】

食事(配給)に関しては、別途定めます。

ただし、主食(米等)は各自ご持参ください。

本部要員、地区業務要員は、食材は配給されますので、各自で自炊あるいはその他の手段を講じてください。

【服装および携行品】

1) 服装

- ① 開閉会式および来賓を招くセレモニーは正装で参加すること。
参加章および記章類を正しく着用すること。
新旧どちらの制服でも可とします。
- ② 参加隊サイト内および作業に従事する場合は、安全衛生を考慮した服装をしてください
- ③ プログラムに参加する時の服装は、別途定める『プログラム・ガイドブック』に従ってください。

2) 携行品および野営装備

携行品および野営装備は、快適な野営生活を維持し、環境整備に配慮することを考慮し、簡潔で精選されたものを準備してください。その標準例を次に示します。

① 個人携行品(参考例)

- | | | |
|----------|-------------|-------------|
| ・ 加盟員登録証 | ・ 懐中電灯 | ・ 針糸等補修用具 |
| ・ 制服 | ・ 食器一式(個人用) | ・ 筆記用具 |
| ・ 作業着 | ・ 運動靴 | ・ 交歓・営火用品 |
| ・ 雨具 | ・ 水着 | ・ 健康保険証 |
| ・ 各種着替え | ・ 作業用手袋 | ・ 救急用品(持薬等) |
| ・ ロープ | ・ 水筒 | ・ 名札 |

- ・ 主食材料 （8/3 昼食含む）
- ・ ナイフ(旅行中は腰に下げない)
- ・ 洗面具
- ・ 手旗
- ・ コンパス
- ・ スカウトハンドブック
- ・ (進歩記録帳)

② 隊・班の携行品および装備(参考例)

- ・ テント・フライシート・グラウンドシート
- ・ 救急薬品一式
- ・ 炊具一式
- ・ 隊旗(隊旗は構成隊のもの全て持参)
- ・ 会場周辺の地図
- ・ 工具一式
- ・ 燃料 (薪、ホワイトガソリン・灯油・プロパンガス・カートリッジ式ガスとする)
- ・ 配給開始前後の食料品
- ・ 国旗(隊ごとに一式)
- ・ 班旗
- ・ 灯具一式

特記:各燃料の運搬および運搬容器の基準、積載方法の基準に就いては、
各関係法令に基づき、事故のないよう正しく運用してください。

第10章 輸送

【輸送計画】

- 1) 参加隊の会場到着日時・退出日時、その他の細部については、参加隊毎に 野営管理部と輸送計画の調整をして、指示に従ってください。
- 2) 野営装備・備品等の輸送計画についても(1)と同様に、野営管理部の指示に従ってください。
- 3) 駐車場については、野営管理部の定めた駐車場を使用してください。

【個人車両の使用】

個人車両使用については、野営管理部の指示に従ってください。

【会場内の交通制限ならびに交通規制】

野営管理部の定める交通制限ならびに交通規制に従ってください。

第11章 入場・退場

【参加隊の入退場】

入場：8月3日(水)午前8時00分～正午に入場し諸手続きを完了させ開会式までに設営を完了することを基本とします。

退場：閉会式に参加してから8月7日(日)午後4時30分までに撤営を完了させ諸手続きを完了後、退場することを基本とします。

【大会本部要員の入退場】

入場：会場は8/2 15:00に開場しますので、それぞれの部署の責任者の指示に従い入場してください。入場手続き手順は別に定めます。

退場：それぞれの部署の責任者の指示に従い、8/7 18:00までには退場を完了させてください。

第12章 安全管理と救護衛生

【安全管理】

安全管理に関する事項は、別に定める安全の手引きに従ってください。

【救護受付所（ファースト・エイド・ポイント）】

会場内に救護受付所を設置しますが、あくまでも応急処置のみで、加療が必要な場合は、大会本部が依頼する場外の病院等の医療施設に搬送します。

第13章 大会組織と運営

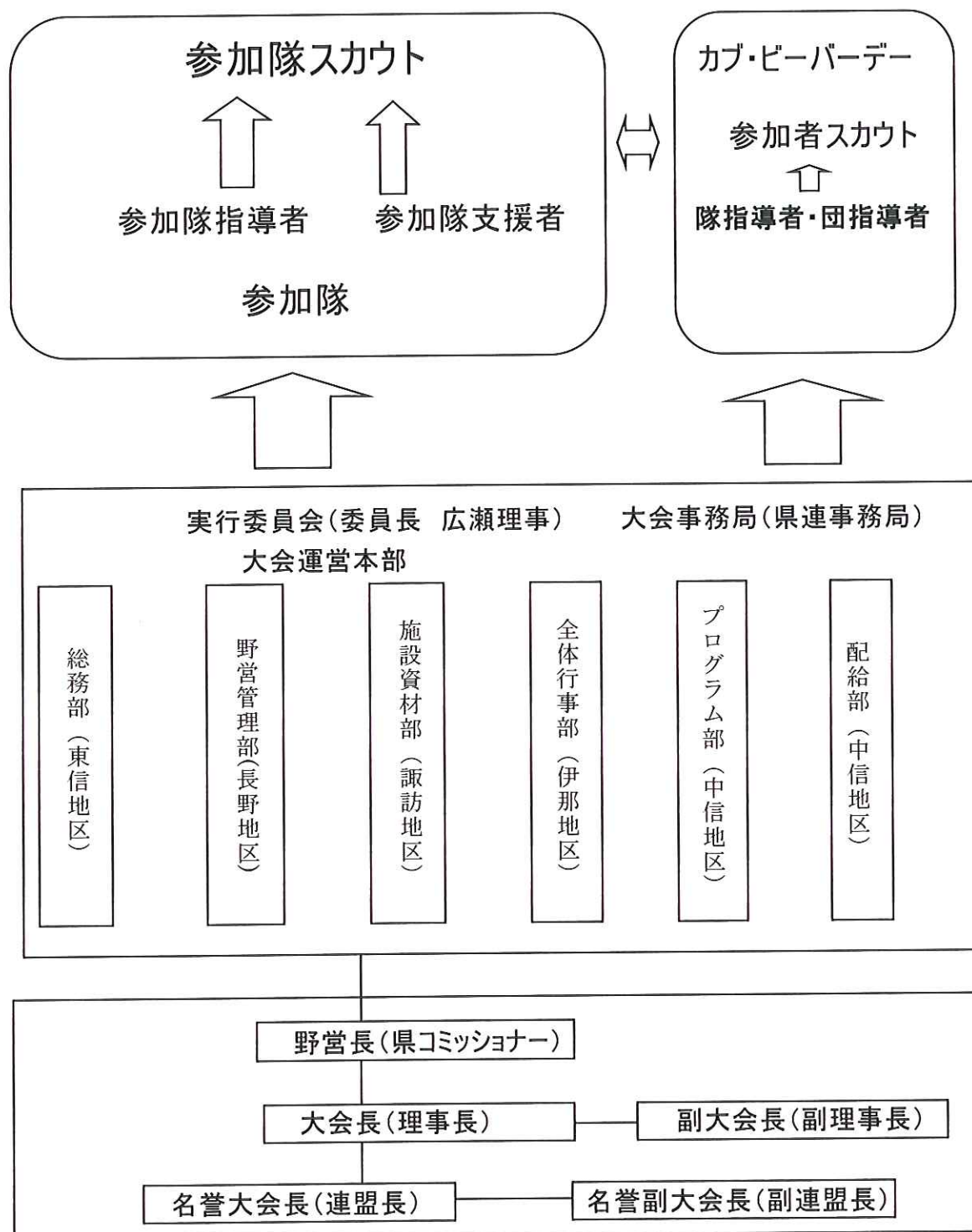
【準備・運営の方針】

大会準備は、大会実行委員会を組織してその準備にあたり、大会期間は大会運営組織により運営します。

【運営の組織】

大会組織図と業務分掌表Ⅰ、Ⅱ-1～Ⅱ-4により大会運営を担います。

18NC 大会組織図



危機管理会議 : 名誉正副大会長、正副大会長、野営長、運営本部長、部長

18NC 業務分掌表 I

		業務内容
参加隊	参加隊長	参加隊を統括し、野営長の指示に従い安全で快適な野営生活をし、参加者が大会目的を達成できるよう参加隊を運営し、参加者を指導、支援する。そのために、隊長会議に参加しなければならない。
	参加副長	隊長の指示に従い、隊長から委任された参加者の教育を含めた役務を担当し、隊長業務を補佐する。 隊長が活動できない場合、隊長の役務を代行する。
	参加隊支援者	隊長の指示に従い、スカウトの直接教育に係らない隊内の役務を担当し隊指導者の支援をする。 なお、インストラクターとして参加する場合は、担当のスキルに関して隊長の指示によりスカウトの教育に携わることができる。
野営長 (大会役員) (野営生活責任者) (安全管理責任者)		大会長の指示に従い、参加隊の大会における野営生活を統括し、安全な野営により大会目的を達成できるよう、必要に応じて、運営本部と協力して、参加隊を支援、指導する。(18NC 野営生活責任者) そのために、大会期間中、運営本部長の支援により隊長会議を定期的に開催、主宰し、大会情報の提供、参加隊ニーズの把握し、大会運営に反映しなければならない。
運営本部	実行委員長 (運営本部長) (運営責任者) (大会役員)	大会長の指示に従い、野営長に協力し大会運営各部を統括し、参加者が大会目的を達成できるよう支援する。(18NC 運営責任者) 効果的に支援する為に、実行委員会、大会期間中は運営会議を必要に応じて開催、主宰する。
	副実行委員長 (副運営本部長)	実行委員長を補佐し、委任された業務を担当する。 実行委員長が活動できない時は、実行委員長役務を代行する。
	大会事務局	実行委員長の指示に従い、総務部と協力し、大会事務局を運営する。詳細業務は職務分掌表Ⅱ-1に示す。
	運営各部	実行委員長の指示に従い、担当役務を遂行することで、参加者の大会目的達成の支援をする。具体的役務は、業務分掌表Ⅱに示す。
大会役員	大会長	大会を統括し、名誉大会長と共に大会を代表する。(18NC 執行総責任者) 大会会計業務を事務局、総務部の協力によりつかさどる
	副大会長	大会長を補佐し、大会長からの指示業務を統括、担当する。 大会長が不在の時は大会長業務を代行する。
	名誉大会長	大会長と共に大会を代表する。
	名誉副大会長	名誉大会長を補佐し、名誉大会長が不在の時、その役務を代行する。

18NC 業務分掌表 II-1

		業務内容
大会事務局	業務内容	以下の事務局業務の遂行により、参加者が大会目的を達成できるよう支援する。 ① 会議開催連絡、出欠確認、会議場所確保、設営、会議進行を行う。 ② 会議議題の確定と資料準備、次第作成。 ③ 記録作成(文書)と必要部署への配布周知、保管。 (記録内容については実行委員長の承認が必要) ④ HP への情報提供(更新)実施。 ⑤ 来賓関連業務 招待状作成、招待者確定、出欠確認、来賓受付、接待、案内等 ⑥ 大会登録関連業務 (参加者名簿作成を含む。会計業務は除外) ⑦ 会場借用・行政届出・医療機関依頼に係る諸手続きおよび持ち主との折衝業務 ⑧ 緊急事態での外部との折衝・連絡窓口 ⑨ 大会中、運営本部で必要となる事務用品、消耗品の準備と管理 ⑩ その他、実行委員長から指示された業務
	事務局長	実行委員長の指示に従い、総務部と協力して、大会事務局業務を統括する。
	事務局員	事務局長の指示により、大会事務局業務を担当する。 判断を伴う事項については事務局長の判断を仰がなければならない。
総務部	業務内容	以下の総務部業務の遂行により、参加者が大会目的を達成できるよう支援する ① 事務局業務支援 ② 参加者入退場受付業務(途中退出、外出、途中入場に関する届け出受付業務) ③ 大会参加者状況把握(人員を日締め集計、野営長、運営本部長、大会長に報告) ④ 大会役員、運営部長の所在把握(大会期間中) ⑤ 大会記録関連業務 参加隊・運営各部の日報受付、大会日報作成、そのデータ化、映像記録等 ⑥ 大会掲示板の管理 ⑦ 救護業務 救護所運営、病院搬送、救護記録作成と保管 ⑧ 大会中の大会金銭管理 ⑨ 大会電話受付と関係部署への内容伝達および大会電話管理(24 時間) ⑩ 大会開催中の落とし物、紛失物届出受付と管理 ⑪ その他、実行委員長から指示された業務
	部長	実行委員長の指示に従い、事務局長と協力し総務部業務と部員を統括し、総務部予算執行を管理し会計報告する。事務局長不在の時は、事務局長業務を代行する。
	部員	総務部長の指示に従い、総務部業務を遂行する。総務部長不在の場合は、総務部長から指名された部員が職務を代行する。

18NC 業務分掌表 II-2

		業務内容
野 営 管 理 部	業 務 内 容	以下の野営管理部業務の遂行により、参加者の安全で快適な野営生活を確保し、大会目的を達成できるよう支援すると共に、カブ・ビーバーデーの支援をする。 ① 会場内利用計画の作成と、その周知。 ② 会場内の安全対策、防犯と管理 危険個所の明示と周知、立ち入り禁止命令、巡回、監視等の実施 会場内車両規制の実施と指導 ③ 参加隊野営の安全基準周知確認と問題発生時参加隊長を通じた改善指導実施 ④ 参加者の迷子、失踪等の防止策実施と発生時の搜索 ⑤ 駐車場の指定と安全管理 ⑥ ごみ処理に関する周知と、ゴミ処理業務の遂行 ⑦ 生活廃水の処理方法の周知と正しい処理の確認指導 ⑧ 参加隊退場時のサイト点検、改善指導と、問題のない時、退場許可書発行 ⑨ その他、実行委員長から指示された業務
	部 長	実行委員長の指示に従い、野営長に協力し、野営管理部業務を統括し、野営管理部予算執行を管理、会計報告する。なお、定めのない参加隊の野営基準維持および安全管理に関する判断は、野営長の判断に従う。
	部 員	野営管理部長の指示により、野営管理業務を担当する。部長不在の場合は、部長から指名された部員が職務を代行する。
施 設 資 材 部	業 務 内 容	以下の施設資材部業務の遂行により、参加者が大会目的を達成できるよう支援する。 ① 大会会場施設の手配、準備、輸送、設置を大会開催までに完了させる。 ② 野営管理部長に協力し、参加者のニーズを反映した会場内施設の維持管理を実行する。(トイレ汲み取り手配、保全業務、雨水処理、緊急対応工事を含む) ③ 大会会場施設に使用するトイレトーパーなどの消耗品、メンテナンス用品の準備と供給をする。 ④ 閉会後の、大会会場施設の撤去、原状復帰 ⑤ スコップ、リヤカーなど工具の準備および大会中管理 ⑥ カブ・ビーバーデーに関して依頼された施設の準備と撤去 ⑦ 大会が必要とする資材、機器の手配、輸送業務 ⑧ その他、実行委員長から委任された業務
	部 長	実行委員長の指示に従い、施設資材部業務を統括し、施設資材部予算を管理、会計報告を作成する。
	部 員	施設資材部長の指示に従い、施設資材部業務を遂行する。施設資材部長不在の場合は、部長から指名された部員が職務を代行する。

18NC 業務分掌表 Ⅱ－3

		業務内容
全体行事部	業務内容	印象に残り、価値を感じる全体行事を中心に、以下の全体行事業務を遂行し、参加者が大会目的を達成できるよう支援する。 ① 開会式、キャンポリー大集会、閉会式の企画、計画、準備、実施と、参加者への必要事項周知を行う。 ② 大会期間中の国旗掲揚、降納の準備(国旗準備も含む)と、実施および大会中の国旗の管理 ③ 大会アリーナおよび関連機器の管理(環境整備、安全対策を含む) ④ カブ・ビーバーデー全体行事の支援 ⑤ その他、実行委員長から指示された業務
	部長	実行委員長の指示に従い、全体行事部業務を統括し、全体行事部予算執行を管理、会計報告する。
	部員	全体行事部長の指示により、全体行事部業務を担当する。部長不在の場合は、部長から指名された部員が職務を代行する。
プログラム部	業務内容	以下のプログラム部業務の遂行により、参加者が大会目的を達成できるよう支援する。 ① 大会プログラムの企画、計画、準備を行い、各地区の協力を受け実施する。 ② かもしれない章授与基準を野営長と協議決定し、プログラムガイドブックを作成し、参加者に配布、周知する。(参加隊長会議での説明を含む) ③ かもしれない章の準備と、参加隊長の申請による配布を行う。 ④ プログラム実施に関する安全管理業務を行う。 ⑤ プログラム展開エリアの管理(環境整備、安全対策を含む) ⑥ その他、実行委員長から委任された業務
	部長	実行委員長の指示に従い、プログラム部業務を統括し、プログラム部予算を管理、会計報告を作成する。
	部員	プログラム部長の指示に従い、プログラム部業務を遂行する。部長不在の場合は、部長から指名された部員が職務を代行する。

18NC 業務分掌表 II-4

		業務内容
配給部	業務内容	配給業務を遂行し、参加者が大会目的を達成できるよう支援する。 ① 大会期間中の献立例を作成し、配給品のリストと配給日時を参加者に事前周知する。 ② 配給物資の手配、受け入れを行い、参加隊と大会スタッフ、に決められた日時、決められた量の配給を実施する。 ③ 配給に使われた容器の回収を行う。 ④ 配給エリアの維持管理(安全管理、環境整備を含む) ⑤ その他、実行委員長から委任された業務
	部長	実行委員長の指示に従い、配給部業務を統括し、配給部予算執行を管理、会計報告する。
	部員	配給部長の指示により、全体行事事務部業務を担当する。部長不在の場合は、部長から指名された部員が職務を代行する。

大会会議体

隊長会議	参加者	主宰：野営長 参加隊長、運営本部長、各部部長、事務局長、(大会役員)
	機能	① 参加者のニーズを受け入れる。 ② 大会情報など必要情報の提供 ③ その他大会長が必要と認めた機能
運営会議	参加者	主宰：実行委員長(運営本部長) 運営部部長、事務局長、大会役員、運営本部長の指名した者
	機能	① 運営各部の情報の共有 ② 運営各部の業務調整と参加者ニーズの運営への反映決定 ③ その他大会長が必要と認めた機能
危機管理会議	参加者	主宰：野営長 運営本部長、各部部長、事務局長、大会役員
	機能	① 危機管理が必要な事象への対処検討、大会長への具申 ② 決定事項の周知方法検討と、決定事項の実施推進 ③ その他大会長が必要と認めた機能

資料1 18NC に関する注意事項

- 1) 成人参加者は大会の指定するセーフ・フロム・ハームの考え方(資料2)を順守して行動しなければなりません。
- 2) 事前視察
BS隊指導者およびVS隊指導者および大会運営要員等が大会前に現地下見する場合は、実行委員長に連絡し許可を得なければなりません。
- 3) 商品販売
大会期間中の商品販売に関しては、運営本部長の許可を必要とします。
- 4) 会場の管理と運用
18NC会場は、大町市に基づく法令のもとで使用が許可されています。その為に今後の関係省庁、行政機関のご指導等により、大会基本実施要領の一部が変更される場合もありますので、ご了解ください。
- 5) 車両にかかわる事項
大型を除くマイクロバスの通行は可能です。4t車以下の通行は可能です。大型バスの通行には、警察の許可証が必要となりますので、事前に申請してください。
- 6) 大会期間中、大会参加者は、場外プログラム以外で会場外へ、場外へ外出する場合は、必ず、総務受付に所定の報告、帰着時も報告をしなければなりません。
- 7) 会場内へ参加者以外の入場を制限します。参加者以外の入退場は、必ず総務受付で所定の手続きを受けてください。

資料2 18NC におけるセーフ・フロム・ハームの考え方

セーフ・フロム・ハームの考え方

世界スカウト機構(WOSM : World Organization of the Scout Movement)は、よりよい教育の提供と危害のないスカウト活動の環境を整えるために「セーフ・フロム・ハーム」を定めました。

それにより、多くの国や地域の連盟では、その考え方を導入し推進しています。ボーイスカウト運動は、「ちかい」と「おきて」の実践を基盤とした、青少年の成長を支援する教育プログラムで、家庭教育・学校教育と並ぶ地織教育として人間性(社会性)を育みます。18NCでは、青少年の参加者に対し、成人参加者が以下に示す事項を守って、行動することで、参加者により良い教育を提供するとともに、参加スカウト、参加者の保護者や、社会の信頼を得られることに結び付けます。

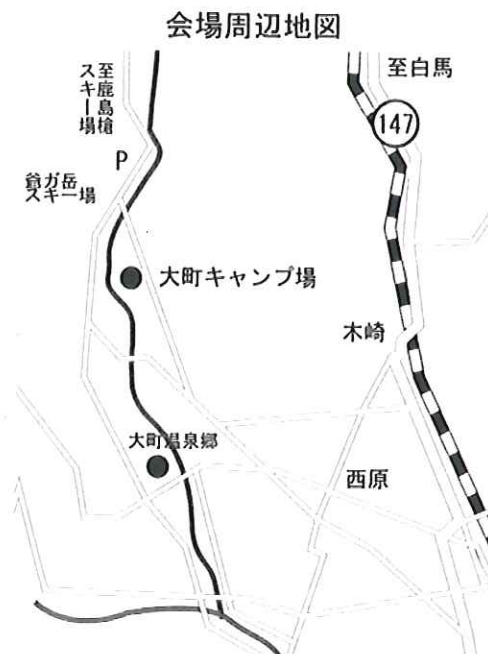
- ① 全ての人の尊厳を尊重する。

- ② 全ての成人・青少年を平等に扱う。
- ③ 相手の嫌がることは、自分では善意と思っても行わない。
- ④ 全ての人に、脅威を与えたり脅威を感じさせたりする言葉をつかわない。
- ⑤ どのような悩みにも親身に相談にのり、対応する。
- ⑥ ウェブサイトは誰でも見られることを意識した内容を選ぶ。
(個人情報、顔写真などは本人または保護者の許可なく投稿しない。)
- ⑦ 活動中にスカウトの前での喫煙はしない。
18NCでは、会場内では運営本部長が指定した喫煙場所(スカウトから見えない喫煙エリア)以外は、会場内全面禁煙とします。
- ⑧ スカウト活動中、18NC会場内では飲酒をしない。
18NC会場内へのアルコール飲料の持ち込みを禁止します。また、酔った成人の会場内への入場は認めません。
- ⑨ 上記に反することを他の成人がしているのを見て見ぬ振りをしない。

資料3 長野県キャンポリーの軌跡

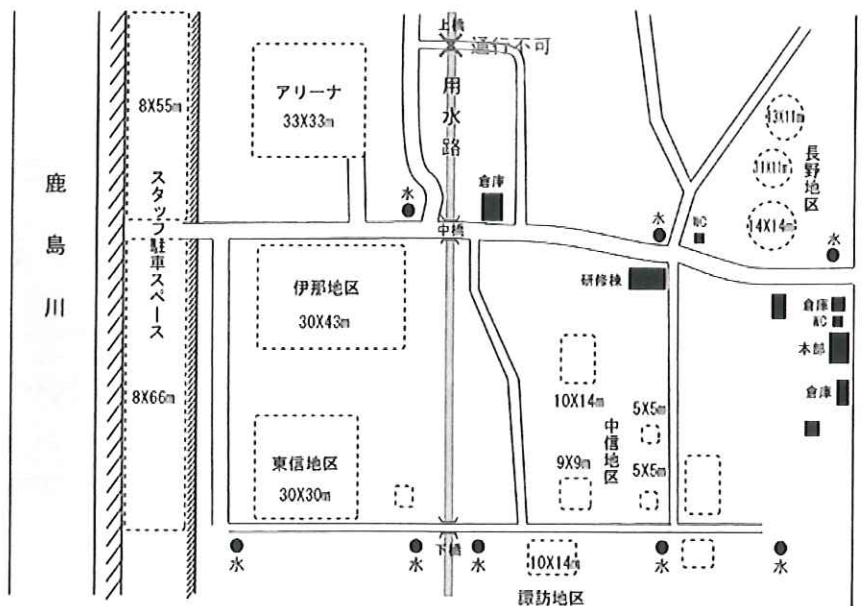
開催年月	大会名	開催市町村(場所)
昭和25年 5月	第 1回 長野スカウト大会	長野市(城山公園)
昭和26年 9月	第 2回 スカウト大会	上田市(上田公園)
昭和32年10月	第 3回 スカウト大会	松本市(松本城広場)
昭和34年 5月	第 4回 スカウト大会	小諸市(懐古園)
昭和36年 8月	第 5回 県キャンポリー	長野市(城山公園)
昭和38年 8月	第 6回 県キャンポリー	軽井沢町(レイク・ニュータウン)
昭和40年 8月	第 7回 県キャンポリー	佐久市(農林省種蓄牧場)
昭和42年 8月	第 8回 県キャンポリー	岡谷市(ヤシカ広場)
昭和52年 8月	第 9回 県キャンポリー	富士見町(富士見高原)
昭和59年 8月	第10回 県キャンポリー	大町市(大町スキー場)
昭和63年 7月	第11回 県キャンポリー	戸隠村(越水ヶ原)
平成 4年 8月	第12回 県キャンポリー	平谷村(平谷スキー場)
平成 9年 8月	第13回 県キャンポリー	白馬村(五竜とおみ飯森ゲレンデ)
平成13年 8月	第14回 県キャンポリー	長門町(エコバレースキー場)
平成17年 8月	第15回 県キャンポリー	石川県珠洲市(りふれっしゅ鉢ヶ崎)
平成21年 8月	第16回 県キャンポリー	長野市戸隠(越水ヶ原)
平成24年 8月	第17回 県キャンポリー	伊那市高遠町(高遠城址公園)
平成28年 8月	第18回 県キャンポリー	大町市平字小熊原(大町キャンプ場)

資料 4 会場周辺地図



資料 5 会場図

日本ボーイスカウト長野県連盟 大町野営場案内図



第 18 回長野県キャンポリー 参加申込書

野営参加者用

(団とりまとめ)

団名	第 団		作 成 年 月 日	年 月 日
記入			団委員長	印
野営参加者				
参加隊	合同隊編成		なし あり (相手団)	
		人数		
	隊長	1	氏名 現役務 (団名)	
	副長			
	支援者			
	BS			
	VS			
	運営 スタッフ		人数	
成人				
VS				
① 合計			× 18,000 円 = 円	

申し込み期限 平成 28 年 4 月 15 日

参加費納入期限 平成 28 年 5 月 6 日

納入金額 = 円

第 18 回長野県キャンポリー 参加申込書

参加隊参加者用(スカウト・指導者)

参加者	フリガナ		性別
	氏名		スカウト 指導者
	所属	長野県連盟 地区 第 団 隊	
	登録番号		
	生年月日	年 月 日 (参加時学年)	
	参加隊	原隊参加 混成隊 () 参加隊役務	
	住所	〒	
	電話番号	(携帯)	
	E-mail		
	進級章		
	緊急 連絡先	TEL (携帯) 氏名 続柄	
保護者承認	わたしは、上記の者が、大会基本実施要項による、 第18回長野県キャンポリーに参加することを認めます。 年 月 日 住所 続柄 氏名 印		
団推薦	当団は、上記の者が、大会基本実施要項による第18回長野県キャンポリーへの参加を推薦いたします。なお、大会目的を達成できるよう責任を持って団で支援いたします。 年 月 日 日本ボーイスカウト長野県連盟 第 団 団委員長 印		

第 18 回長野県キャンポリー 参加申込書

地区業務要員、大会本部要員、担当 VS 用

参 加 者	フリガナ		性別
	氏名		地区要員 本部要員
	所属	長野県連盟 地区 第 団 隊 団・隊役務	
	登録番号		
	生年月日	年 月 日 (参加時年齢)	
	18NC 部署・役務		
	住所	〒	
	電話番号	(携帯)	
	E-mail		
	緊急 連絡先	TEL (携帯) 氏名 続柄	
団 推 薦	当団は、上記の者が、大会基本実施要項による第18回長野県キャンポリーへの参加を推薦いたします。なお、大会目的を達成できるよう責任を持って団で支援いたします。 年 月 日 日本ボーイスカウト長野県連盟 第 団 団委員長 _____ 印		

18NCプログラム参加申込シート(記入方法)

[illegible]

18NC プログラム 参加申込シート(個人)

氏 名	フリガナ	BS/VS	班 名	役務	性別	学年

1. 場外プログラムの選択

場外プログラムの中から、参加してみたいものを選択して、第1希望～第3希望の3つを記入してください。

第1希望	第2希望	第3希望

唐松岳登山は午前と午後を通じた1日型プログラムのため、唐松岳登山を選択すると、場内プログラムでチャレンジできるターゲットバッジの数が1つ少なくなります。

* ベンチャースカウトは、
場外プログラムのみ
選択することができます。

2. 場内プログラムの選択(F-5. パイオニアリング)

Q). F-5 パイオニアリング(1日型プログラム)に参加したいですか？

参加したいかどうか、下記のア)かイ)のどちらかを選んで○をつけてください。

パイオニアリングは午前と午後を通じた1日型プログラムのため、パイオニアリングを選択すると他にチャレンジできるターゲットバッジの数が1つ少なくなります。

ア). F-5. パイオニアリングに参加する。

イ). F-5. パイオニアリングには参加しない。

3. 場内プログラムの選択(F-5. パイオニアリング以外)

次に、パイオニアリング以外の場内プログラムで、参加したいものに○をつけてください。

ただし、選択できる場内プログラムの数は以下の通りです。

I. 1.で第1希望に「A. 唐松岳登山」を記入して、2.でア)に○をした人 ⇒ 2つ

II. 1.で第1希望に「A. 唐松岳登山」を記入して、2.でイ)に○をした人 ⇒ 4つ

III. 1.で第1希望に「A. 唐松岳登山」以外のものを記入して、2.でア)に○をした人 ⇒ 3つ

IV. 1.で第1希望に「A. 唐松岳登山」以外のものを記入して、2.でイ)に○をした人 ⇒ 5つ

B-5	D-1	D-3	D-6	E-4	E-5	F-3	F-7	G-4
救護	観察	通信	気象観測	燃料	ロープ結び	サバイバル	スカウトソング	環境保護

4. 場内プログラムの選択(8/4夜のD-7. 天体宇宙)

Q). D-7 天体宇宙に参加したいですか？

参加したいかどうか、下記のア)かイ)のどちらかを選んで○をつけてください。

この時間帯は「交換会プログラム」も行われます。天体宇宙に参加した場合は、この日の交換会プログラムには参加できません。

天体宇宙は定員40名のため、希望しても参加できない場合があります。

ア). D-7. 天体宇宙(8/4 夜)に参加する。

イ). D-7. 天体宇宙(8/4 夜)には参加しない。

⇒ 班長の確認(サイン) _____ / _____ ⇒ 隊長に提出